ICOM

ご利用ガイド

IP ADVANCED RADIO SYSTEM

IP700 PLUS

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。
本製品の設定について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7570D-2J-2 Printed in Japan
© 2020–2023 Icom Inc.
202311

電源の入れかたと音量調整のしかた

電源を入れる

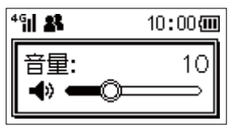
電源/音量ツマミを時計方向に、12時の位置まで回します。
●「カチッ」と音がして、「ピー」と鳴ります。
●起動が完了すると、待受画面が表示されます。



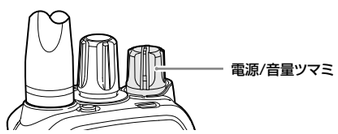
待受画面(LTEモード時)

音量を調整する

電源/音量ツマミを回すと、音量が調整できます。
※調整できる範囲は、「0～32」です。相手の音声が聞きやすい音量レベルに調整してください。
※音量が最小のときは、操作音(ビープ音)や受信した音声が聞こえません。



音量画面(LTEモード時)



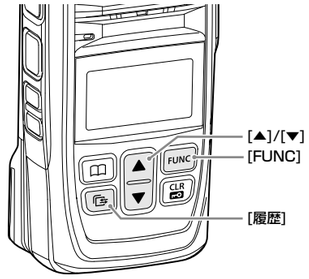
電源を切るときは
電源/音量ツマミを反時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。
※電源を切ったあと、少しのあいだ通電状態になりますので、電源を入れなおすときは、電源を切ってから10秒ほどお待ちください。
※バッテリーパックを交換するときは、「電源OFF…」の表示が消えたことを確認してから、バッテリーパックを取りはずしてください。

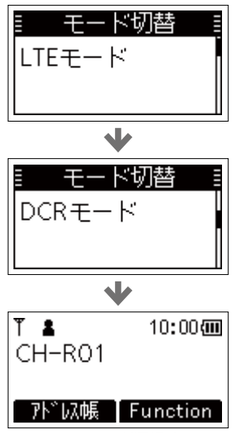
ロック機能について
[CLR/LOCK]を長く(約1秒)押すと、「ピピッ」と鳴って、「🔒」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※ロックされない操作は、ロック機能の解除、送信/受信、モニター機能のON/OFF、電源の入/切、音量調整です。
※緊急呼び出し機能が設定されている場合、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。

運用モードの切り替え

状況に応じて、運用モードを変更できます。
※DCRモード、デュアルモードでの操作については裏面をご覧ください。
※中継機のご使用については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

1. [FUNC]を押して、モード切替を選択します。
   ※キーを押すごとに、お買い上げの販売店で割り当てられた機能が表示されます。
2. [▲]/[▼]を押して、モードを選択します。
3. [履歴]を押します。
   ●選択したモードに切り替わります。





DCRモード選択時

SETモードによる機能設定

本製品の各機能を変更できるSETモードには、基本と詳細の2種類があります。
※SETモードを解除するまで、送信や受信ができません。
※各機能について詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

1. SETモードに移行する

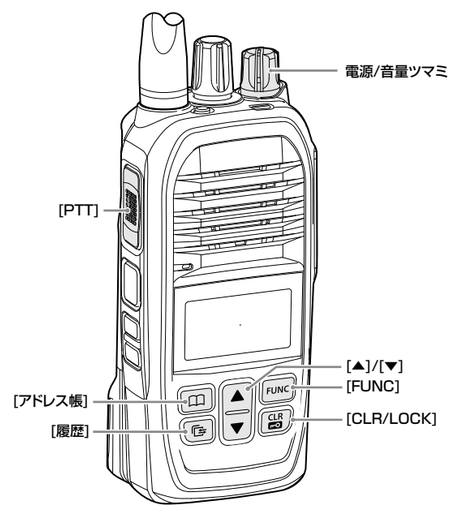
①基本モードの場合　：[FUNC]を押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
　詳細モードの場合　：[FUNC]と[アドレス帳]を押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
②表示部に「SET」が表示されたら、キーから手をはなします。
③[SET MODE]で[▲]/[▼]を押して設定するメニュー(共通/LTE/DCR)を選択し、[FUNC]を押します。
　※適合表示無線設備の番号など認証番号を確認するときは、「認証」を選択します。
　※メニューの選択画面に戻るときは、[PTT]、または[CLR/LOCK]を押します。

2. 設定を変更する

①[アドレス帳]、または[FUNC]を押して、項目を選択します。
②[▲]/[▼]を押して、設定内容を変更し、確定します。
　※ほかの機能も変更するときは、手順①と②の操作を繰り返します。

3. SETモードを解除する

[PTT]、または[CLR/LOCK]を2回押します。
●SETモードが解除されます。
※リセット(初期化)、FIRM UP、履歴削除をする場合は、[履歴]を押します。



LTEモードでの操作

LTEモードでは、弊社製IP無線機と通話できます。

(※表示部やアイコンについては、裏面をご覧ください。)

呼出種別(呼出先)について

「アドレス帳からの呼出」が有効に設定されている場合は、本製品の[アドレス帳]を押して、呼出種別(呼出先)を切り替えられます。
※[▲]/[▼]を押すと、アドレス帳から相手先を選択できます。
※無効になっている場合は、[PTT]を押すと、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出します。



全体呼び出し選択時



個別呼び出し選択時

呼び出しモード表示

呼び出しやメッセージを受信したとき、電話から着信したときは、アイコンが点滅します。



全体呼び出し受信時

通話のしかた

1. 呼び出しをする(送信する)

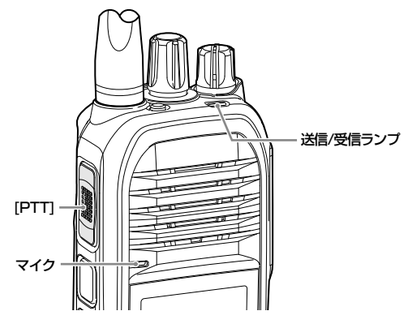
[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。
●[PTT]を押しているあいだは、送信/受信ランプが赤色に点灯します。

2. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、送信/受信ランプが緑色に点灯します。

3. 通話をつづける

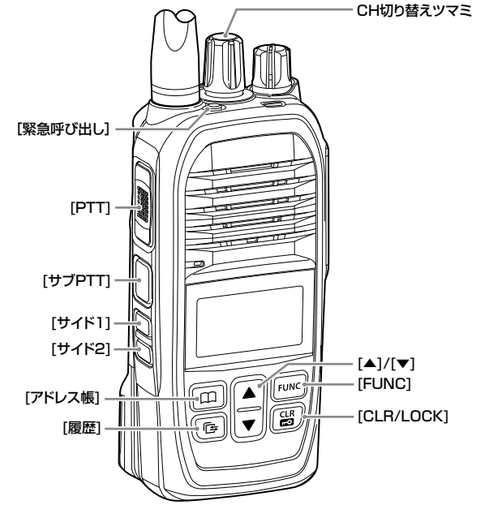
相手が送信しているときでも、[PTT]を押しながら、電話のように同時通話できます。
●送受信状態(同時通話時)のときは、送信/受信ランプが黄色に点灯します。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。



交互通話(単信通話)の場合
お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。
※相手の通話が終了してから、送信してください。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

ご注意
本製品の受話音量が最大近くに設定され、騒音環境や本製品同士を近づけていた状態で、同時通話をすると、相手に周期的な残響ノイズが聞こえることがあります。このようなときは、電源/音量ツマミを回して、音量を小さくすると、現象が発生しにくくなります。

各キーの使いかた



[PTT]	キーを押しているあいだ、送信状態になります。
[アドレス帳]	アドレス帳★を利用して、送信するときに操作します。 キーを押すごとに、呼出種別(全体/グループ(トークグループ★)/個別/電話)が切り替わります。 ※アドレス帳が無効になっている場合は、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出せます。
[履歴]	**短押し**　キーを短く押すごとに、履歴★が切り替わります。
	長押し　録音★を再生するときに操作します。
[FUNC]	運用モードの切り替え、送信するメッセージ★やプレゼンス★、所属するトークグループ★などを選択するときに操作します。
[CLR/LOCK]	**短押し**　メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。
	長押し　ロック機能をON/OFFします。
[▲]/[▼]	アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。 ※CH切り替えツマミと[▲]/[▼]は同じ動作をします。

※上表に記載されている★印の機能、[緊急呼び出し]、[サブPTT]、[サイド1]、[サイド2]は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977)　東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 北海道旭川市6条通8-36-25 セントラル旭川7F-G号室 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5本町EASTビル7F URL : https : //www.exseli.com/

DCRモードでの操作

DCRモードでは、同じメモリーチャンネルのデジタル簡易無線機(登録局/免許局)と通話できます。

メモリーチャンネルについて

登録局用チャンネル

呼出用チャンネルは、一時的な呼び出しをするとき使用します。多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている通話用チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。

通話用チャンネル：CH R1～CH R14、CH R16～CH R82
呼出用チャンネル：CH R15(呼出CH)
上空用チャンネル：CH S1～CH S15
※上空用チャンネルでは送信できません。メモリーチャンネルに上空用チャンネルを設定する場合は、販売店にご依頼ください。

免許局用チャンネル

お買い上げの販売店で、あらかじめ免許を受けた周波数が免許局用のメモリーチャンネルとして設定されています。設定変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

通話のしかた

1. メモリーチャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。



CH R1(登録局)選択時

2. 呼び出しをする(送信する)

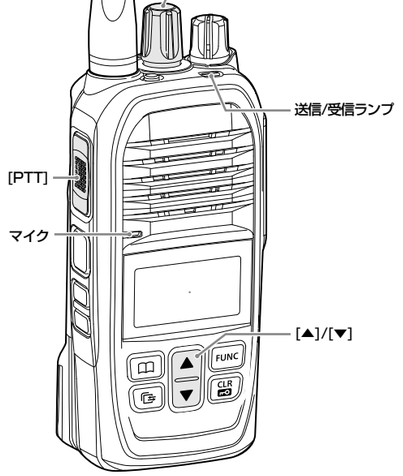
相手と同じメモリーチャンネルに合わせてから、他局が通信していないこと(送信/受信ランプ:消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

3. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、送信/受信ランプが緑色に点灯して、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

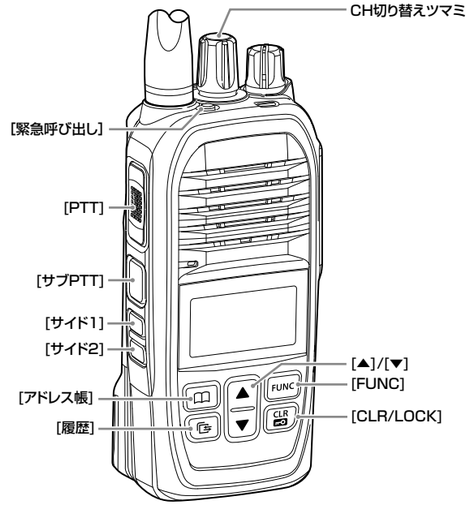
4. 通話をつづける

応答するときは、待受状態(送信/受信ランプ:消灯)になってから、[PTT]を押します。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。



※CH切り替えツマミと[▲]/[▼]は基本的に同じ動作をします。本書では[▲]/[▼]で説明しています。

各キーの使いかた



[PTT]		キーを押しているあいだ、送信状態になります。
[アドレス帳]	**短押し**	キーを押すごとに、呼出種別★(全体/基地/個別/グループ番号)が切り替わります。
	長押し	送信出力★を切り替えるときに操作します。
[履歴]	**短押し**	キーを短く押すごとに、履歴★が切り替わります。
	長押し	録音★を再生するときに操作します。
[FUNC]		運用モードの切り替え、ワンタッチPTT、Bluetooth関連、録音などを選択するときに操作します。
[CLR/LOCK]	**短押し**	メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。
	長押し	ロック機能をON/OFFします。
[▲]/[▼]		アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。 ※CH切り替えツマミと[▲]/[▼]は同じ動作をします。

※上表に記載されている★印の機能、[緊急呼び出し]、[サブPTT]、[サイド1]、[サイド2]は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

ご参考に
ご利用になる目的に応じて、下記の機能をご使用ください。
※各機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
※各操作について詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

◎ユーザーコード
複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。ほかの人の音声を聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くときに使用します。
※メモリーチャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。
※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。

◎秘話機能
秘話機能を設定すると、ほかの相手に通話内容が傍受されるのを防止できます。
※メモリーチャンネルと秘話コードが一致したすべての相手と通話できます。

◎個別呼び出し
詳細な設定をすることで、「全体呼び出し」、「個別呼び出し」、「グループ呼び出し」ができます。

デュアルモードでの操作

デュアルモードでは、LTEモードとDCRモードを同時に使用できます。

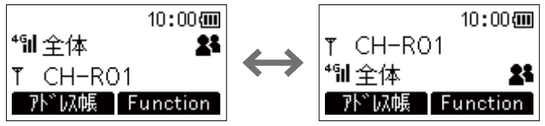
メイン/サブの切り替えと送信のしかた

[PTT]で送信できるメイン(上部)と[サブPTT]で送信できるサブ(下部)に、LTEモードとDCRモードを割り当てて使用します。



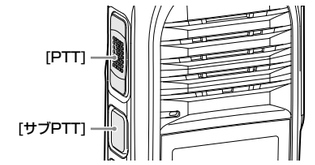
切り替えかた

[FUNC]を長く(約1秒)押すごとに、メインとサブが切り替わります。
※初回起動時(リセット/ファームウェア更新後)は、メイン(上部)がLTEモード、サブ(下部)がDCRモードになります。



送信のしかた

◎[PTT]を操作するとメイン側、[サブPTT]を操作するとサブ側に表示されている運用モードの呼出種別(呼出先)に対して送信できます。
◎LTEモードとDCRモードに対して同時送信するときは、[PTT]と[サブPTT]を同時に操作します。
※呼出種別(呼出先)やメモリーチャンネルを変更できるのは、メイン側に表示されている運用モードだけです。サブ側を変更するときは、いったんメインに切り替えてから操作してください。



各キーの使いかた

[PTT]			キーを押しているあいだ、メイン側が送信状態になります。
[サブPTT]			キーを押しているあいだ、サブ側が送信状態になります。
[アドレス帳]	**短押し**	メイン LTE	アドレス帳★を利用して、送信するときに操作します。 キーを押すごとに、呼出種別(全体/グループ(トークグループ★)/個別/電話)が切り替わります。 ※アドレス帳が無効になっている場合は、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出せます
		メイン DCR	キーを押すごとに、呼出種別★(全体/基地/個別/グループ番号)が切り替わります。
	長押し		DCRの送信出力★を切り替えるときに操作します。
[履歴]	**短押し**		キーを短く押すごとに、履歴★が切り替わります。
	長押し		録音★を再生するときに操作します。
[FUNC]	**短押し**		LTEモード時、DCRモード時と同様に、運用モードの切り替え、Bluetooth関連、録音などを選択するときに操作します。
	長押し		メイン/サブを切り替えるときに操作します。
[CLR/LOCK]	**短押し**		メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。
	長押し	**長押し**	ロック機能をON/OFFします。
[▲]/[▼]			アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。 ※CH切り替えツマミと[▲]/[▼]は同じ動作をします。

※上表に記載されている★印の機能、[緊急呼び出し]、[サイド1]、[サイド2]は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

表示部について



お買い上げの販売店で「自局名」が設定されてない場合は、LTEモード時、5桁の自局番号(例：00105)が表示されます。

LTEモード

4G	電波の強度を3段階(目安)で表示 ※キャリア表示設定時は、D(ドコモ網)やK(au網)が表示されます。
4G	点滅：サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合(圏外) 点灯：IP無線コントローラーに繋がっていないとき(未レジスト)
	全体/グループ呼び出し
	トークグループ呼び出し
	個別呼び出し時
	電話(発信/着信)

DCRモード

	電波の強度を4段階(目安)で表示 ※▼は、待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。
	全体/グループ呼び出し
	グループメンバーに設定されているグループ番号
	個別呼び出し時
	基地局表示
	秘話機能設定時
H	ハイパワー(5W)選択時
L	ローパワー(1W)選択時
R	受信専用チャンネル選択時
SUB	サブチャンネルスキャン中 点滅：スキャン一時停止中、点灯：スキャン中
PRI	プライベートチャンネルスキャン中
MC	メモリーチャンネルスキャン中
AT	自動チャンネル切替機能設定中 点滅：自動チャンネルスキャン一時停止中、点灯：スキャン中

LTE/DCRモード

REC	点滅：録音中/未確認録音データあり、点灯：録音機能設定時
	Bluetooth機能設定時
	Bluetooth機器と接続中
	ポケットビープ機能設定時
P	Pベル機能表示
	ロック機能動作中
VOX	VOX機能設定時
E	緊急呼び出し機能設定時
	電池の残量(目安)を4段階で表示 十分、残量あり、残量少(早めに充電)、点滅 残量なし(要充電)

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 北海道旭川市6条通8-36-25 セントラル旭川7F-G号室 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5本町EASTビル7F URL：https：//www.exseli.com/